

拝啓

厳寒の候、ミライズ障害年金相談センターの皆様、ならびに担当していただきました [redacted] におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

ご挨拶が遅くなってしまいました。このたびの障害年金受給申請の手続きに関しましてのご尽力、誠にありがとうございます。無事、障害基礎・障害厚生年金2級での受給が叶いましたこと、心より御礼申し上げます。

私の申請につきましては、初診日証明や認定日未到来など先生のお力になければ到底難しいものであったと承知しております。また、最初の無料相談から1年近くと長期間にわたりLINEやお電話で様々なタイミングであったにもかかわらず、常に迅速な対応をしていただきまして、その度に不安な面、不明な点などに、親切丁寧にお応えいただき、本当にありがとうございます。

やり取りの中で、私の無知や不安症のため失礼も多々あったと思います。心よりお詫びいたします。

この障害年金が認められたことは、私の苦しさを認めてもらえたような気持ちになりました。金銭面におきましては、今まで上手に働くことができなかったことへの罪悪感が少し軽減されました。なによりも、心が救われた気持ちです。“とりあえず3年、私には生きる意味ができました。だから少し頑張ってみよう。”そう思っています。

これもすべて貴社ならびに [redacted] のお力添えの賜物でございませう。

堅苦しく拙い文章をここまで読んでいただきありがとうございます。私の報われた・救われたこと感謝の気持ちが少しでも伝えできていれば幸いです。

末筆ながら、貴社ならびに [redacted] のますますのご活躍を心よりお祈りいたします。

この度は、誠にありがとうございます。

敬具